

令和7年度 第1回八尾市地域包括支援センター運営協議会資料

資料1 令和6年度高齢者あんしんセンター運営状況について ……P1～8

資料2 令和6年度のデータからの分析と合同専門職会議での取り組み ……P9～11

資料3 令和6年度高齢者あんしんセンター事業評価について ……P12～13

資料4 令和6年度高齢者あんしんセンター事業経費決算書について ……P1～32

資料5 令和7年度高齢者あんしんセンター事業経費予算書について ……P1～32

(その他)

資料6 介護保険施行規則の改正に伴う地域包括支援センターの設置運営について

令和7年8月

1. 包括的支援事業

(1) 高齢者あんしんセンター体制

基幹型高齢者あんしんセンター	高齢者あんしんセンター	合計
1	15	16

(2) 総合相談事業

地域に住む高齢者に関するさまざまな相談を受け、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的にフォローするとともに、必要に応じて地域包括支援センターの業務に継続している。

① 相談対応件数の推移

(単位：件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	49,618	52,129	51,123

② 実態把握件数の推移

(単位：件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実態把握件数	3,861	4,059	4,113

(3) 権利擁護事業

認知症などにより判断能力が衰えてきた高齢者の権利や財産等を守るために、成年後見制度等に関する相談に応じている。

① 権利擁護相談と認知症相談件数の推移

(単位：件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
権利擁護相談件数	3,835	3,736	4,347
認知症相談件数	7,032	7,026	7,109

② 虐待通報件数及び認定件数の推移

(単位：件)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
在宅	通報実件数	139	161	160
	虐待認定者数	78	102	89
施設	通報実件数	12	17	17
	虐待認定件数	6	3	4

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

地域のケアマネジャーが円滑に業務を行うことができるよう支援や助言を行い、サービスの質の向上を目指している。

ケアマネジャーからの相談件数の推移

(単位：件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談件数	3,831	4,588	3,869

2. 任意事業

(1) 家族介護教室について

介護をされている家族の方が介護に関する知識や技術を習得することを目的に開催。

※令和2年度から、新型コロナウイルス感染症等の対策として、教室開催だけでなく、状況に応じて個別での対応（訪問・電話）を併せて実施。

家族介護教室の開催状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
集団	教室実施回（回）	113	110	95
	参加者人数（人）	1,138	1,342	1,312
個別	教室（個別）	66	25	6

(2) 認知症啓発活動について

認知症の方や介護をする家族が暮らしやすい地域とするために、認知症に関する啓発活動の実施に取り組んでいる。

① 認知症啓発活動

P 5. 高齢者あんしんセンターの啓発状況について 参照

② 認知症サポーター養成講座（認知症キッズサポーター養成講座含む）

高齢者あんしんセンター職員が認知症サポーター養成講座の講師（キャラバン・メイト）として参加。

【主な取り組み】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
キッズサポーター養成講座回数	11	11	8
キッズサポーター養成数	805	797	566

認知症サポーター養成者は令和7年3月末現在で累計18,713人（内、キッズサポーター7,057人）となっている。

(3) その他

① 会議の開催状況について

(単位：回)

会議内容	開催回数
高齢者あんしんセンター運営責任者会議	1
高齢者あんしんセンター管理者会議	12
高齢者あんしんセンター合同専門職会議（①～③合計） ① ケアマネ連携会議（5）② 介護予防推進会議（6）③ 地域ネットワークづくり会議（6）	17

① 地域ケア会議

(単位：回)

会議内容	開催回数
地域ケア連絡協議会	2
地域ケアケース会議（合同定例会含む）	22
随時会議（①～③合計） ① 地域ケアケース会議随時会議（120）② 自立支援型地域ケア会議（4） ② 生活援助の多いケアプランの検討会議（3）	127
高齢者虐待ケース全体評価会議（レビュー会議）	20

② 高齢者あんしんセンター職員研修

内容	「弁護士が生活再建に携わった事例」		
日時	令和6年11月19日(火) 15時から17時分		
講師	柿原法律事務所 弁護士 柿原 学 (かきはら たく) 氏	参加人数	47人

3. 介護予防事業

(1) 高齢者あんしんセンター介護予防教室の開催状況

65歳以上の全ての人を対象に、要介護・要支援状態になることを防ぐため、介護予防教室を開催。

高齢者あんしんセンター介護予防教室の開催状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
集団	教室実施回数（回）	257	293	329
	参加者人数（人）	3,164(849)	4,366 (946)	4,926 (1,145)

(2) 指定介護予防支援について

要支援1・2と認定された方に対し、介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントを実施している。

① 介護予防ケアプラン作成件数

(単位：件)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ケアプラン作成件数	2,840 (2,149)	3,011 (2,350)	3,179(2,493)

※ () は居宅介護支援事業所に委託した件数

② 介護予防ケアプランの作成の内訳

圏域	センター名	ケアプラン数			内訳			
		介護予防	介護予防ケアマネジメント	合計	直接		原案	
					予防	マネジメント	予防	マネジメント
1	萱振苑	146	124	270	22	23	124	101
	スローライフ北	74	67	141	11	12	63	55
	スローライフ八尾	113	114	227	15	26	98	88
2	りゅうげ	155	99	254	17	10	138	89
	ホーム太子堂	90	72	162	20	11	70	61
	久宝寺愛の郷	172	123	295	3	4	169	119
3	楽寿	114	84	198	15	8	99	76
	あおぞら	105	95	200	35	48	70	47
	緑風園	157	123	280	12	9	145	114
4	長生園	179	115	294	27	24	152	91
	サポートやお	112	111	223	30	37	82	74
	成法苑	144	96	240	50	30	94	66
5	寿光園	35	41	76	31	33	4	8
	信貴の里	71	71	142	36	48	35	23
	中谷	96	81	177	17	22	79	59
合計		1763	1416		341	345	1422	1071
		3179			686		2493	

③ 介護予防ケアマネジメント業務に関する研修会

居宅介護支援事業所向けの介護予防ケアマネジメントに関する研修会を実施。

テーマ	「工程分析ってなんなん？ ～工程分析で自立支援を考えよう～」
-----	--------------------------------

日時	令和6年11月27日(水)		
講師	介護予防活動強化推進事業大阪府アドバイザー (公社)大阪府理学療法士会 中村 昌司氏	参加人数	34人

4. 高齢者あんしんセンターの啓発状況について

高齢者あんしんセンターが「地域の身近な高齢者総合相談窓口」であることを幅広い年齢層の住民に対して周知するとともに、地域の高齢者が住み慣れた地域で安心安全に暮らしていただけるよう、認知症への理解地域による見守りや声かけ、介護予防の重要性などについてPRを行った。

① 地域支援室の啓発状況

啓発対象	参加者数(人)
高齢者ふれあい農園、八尾健康まつり、民協総会、高齢クラブ評議員会 金婚式・長寿を祝う会、龍華町西公園イベント、ひゅーまんフェスタ、健康医療 福祉展、みせるば八尾 等	4295

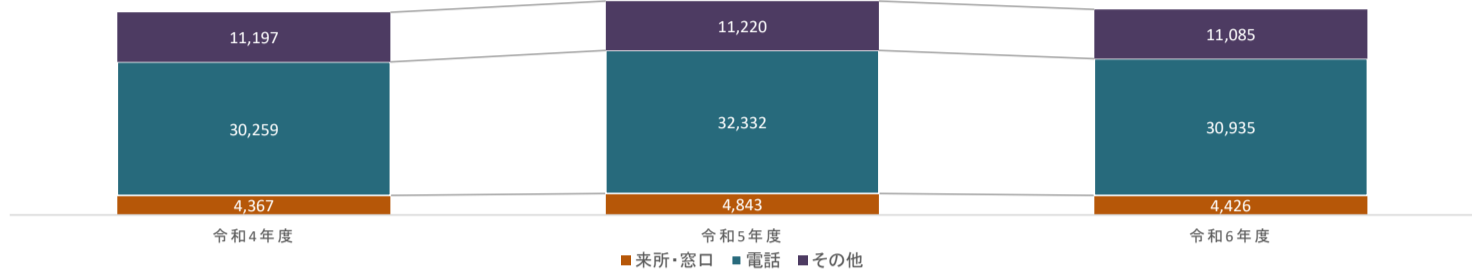
② 高齢者あんしんセンター展の開催状況

センター名	開催(回)	参加者(人)	主な開催場所
萱振苑	5	1,137	小学校、寺、出張所
スローライフ北	2	100	ふれあい広場、青少年会館
スローライフ八尾	6	247	小学校、集会所
りゅうげ	4	1,801	小学校、出張所
ホーム太子堂	3	1,100	出張所
久宝寺愛の郷	1	200	小学校
楽寿	2	160	出張所
あおぞら	2	104	寺、小学校
緑風園	5	643	福祉委員会、小学校、出張所
長生園	31	3,046	集会所、福祉会館、小学校、神社
サポートやお	1	34	総合体育館
成法苑	5	1,236	小学校、出張所、みせる場、施設
信貴の里	4	447	小学校、出張所
寿光園	3	404	中学校、施設
中谷	56	2,607	小学校、集会所、出張所、みせる場

高齢者あんしんセンター総合相談集計表

(単位:件)

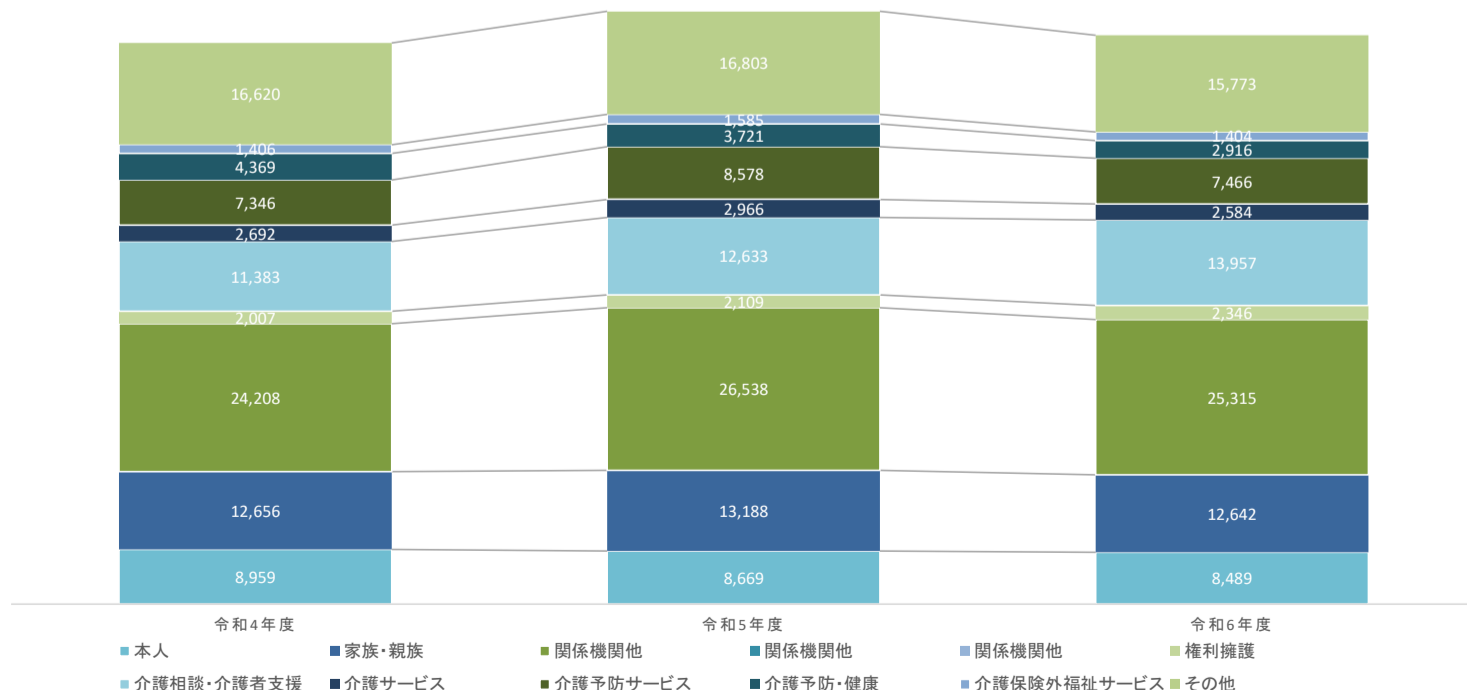
	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	基幹型	地域型	合計	基幹型	地域型	合計	基幹型	地域型	合計
総合相談件数	3,795	45,823	49,618	3,734	48,395	52,129	4,677	46,446	51,123
相談形態									
来所・窓口	898	4,367	5,265	801	4,843	5,644	963	4,426	5,389
電話	2,661	30,259	32,920	2,654	32,332	34,986	3,324	30,935	34,259
その他	236	11,197	11,433	279	11,220	11,499	390	11,085	11,475



	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	基幹型	地域型	合計	基幹型	地域型	合計	基幹型	地域型	合計
相談経路									
本人	851	8,959	9,810	833	8,669	9,502	761	8,489	9,250
家族・親族	675	12,656	13,331	736	13,188	13,924	1,016	12,642	13,658
関係機関他	2,269	24,208	26,477	2,165	26,538	28,703	2,900	25,315	28,215



	令和4年度			令和5年度			令和6年度		
	基幹型	地域型	合計	基幹型	地域型	合計	基幹型	地域型	合計
相談区分									
権利擁護	1,828	2,007	3,835	1,627	2,109	3,736	2,001	2,346	4,347
介護相談・介護者支援	996	11,383	12,379	1,137	12,633	13,770	1,423	13,957	15,380
介護サービス	56	2,692	2,748	32	2,966	2,998	43	2,584	2,627
介護予防サービス	18	7,346	7,364	7	8,578	8,585	21	7,466	7,487
介護予防・健康	169	4,369	4,538	116	3,721	3,837	197	2,916	3,113
介護保険外福祉サービス	7	1,406	1,413	6	1,585	1,591	2	1,404	1,406
その他	721	16,620	17,341	809	16,803	17,612	990	15,773	16,763



別紙1-1

高齢者あんしんセンター 活動実績表

センター名	種 別	令和4年度	令和5年度	令和6年度
萱 振 苑	相 談 受 付	2,267	2,494	2,909
	実 態 把 握	278	247	287
	地域型介護予防教室 (集団)	27	28	50
	地域型介護予防教室 (個別)	0	0	0
	家族介護教室 (集団)	16	14	10
	家族介護教室 (個別)	0	0	0
スローライフ北	相 談 受 付	2,188	2,417	2,226
	実 態 把 握	179	255	256
	地域型介護予防教室 (集団)	19	24	29
	地域型介護予防教室 (個別)	0	0	0
	家族介護教室 (集団)	9	6	6
	家族介護教室 (個別)	0	0	0
スローライフ八尾	相 談 受 付	2,105	1,761	2,012
	実 態 把 握	242	275	256
	地域型介護予防教室 (集団)	27	40	38
	地域型介護予防教室 (個別)	0	0	0
	家族介護教室 (集団)	10	6	6
	家族介護教室 (個別)	0	0	0
りゅうげ	相 談 受 付	4,169	3,890	3,696
	実 態 把 握	252	320	258
	地域型介護予防教室 (集団)	12	15	18
	地域型介護予防教室 (個別)	59	3	0
	家族介護教室 (集団)	10	12	6
	家族介護教室 (個別)	0	0	0
ホーム太子堂	相 談 受 付	2,907	2,629	2,492
	実 態 把 握	247	263	260
	地域型介護予防教室 (集団)	22	16	16
	地域型介護予防教室 (個別)	0	0	0
	家族介護教室 (集団)	10	11	6
	家族介護教室 (個別)	0	0	0
久宝寺愛の郷	相 談 受 付	4,527	5,441	4,763
	実 態 把 握	245	268	252
	地域型介護予防教室 (集団)	15	16	16
	地域型介護予防教室 (個別)	14	0	0
	家族介護教室 (集団)	7	6	6
	家族介護教室 (個別)	0	0	0
楽 寿	相 談 受 付	1,313	1,398	1,268
	実 態 把 握	192	225	275
	地域型介護予防教室 (集団)	7	12	11
	地域型介護予防教室 (個別)	0	0	0
	家族介護教室 (集団)	6	6	6
	家族介護教室 (個別)	0	0	0
あおぞら	相 談 受 付	2,373	2,606	2,581
	実 態 把 握	259	257	279
	地域型介護予防教室 (集団)	17	20	16
	地域型介護予防教室 (個別)	0	0	0
	家族介護教室 (集団)	6	6	6
	家族介護教室 (個別)	0	0	0

高齢者あんしんセンター 活動実績表

センター名	種 別	令和4年度	令和5年度	令和6年度
緑 風 園	相 談 受 付	6,120	6,867	6,780
	実 態 把 握	285	278	343
	地域型介護予防教室（集団）	16	16	16
	地域型介護予防教室（個別）	0	0	0
	家族介護教室（集団）	6	6	6
	家族介護教室（個別）	0	0	0
長 生 園	相 談 受 付	3,240	4,155	4,050
	実 態 把 握	287	288	282
	地域型介護予防教室（集団）	17	17	25
	地域型介護予防教室（個別）	4	0	0
	家族介護教室（集団）	7	5	7
	家族介護教室（個別）	20	17	4
サポ－トやお	相 談 受 付	3,047	3,483	2,934
	実 態 把 握	298	274	266
	地域型介護予防教室（集団）	16	16	17
	地域型介護予防教室（個別）	3	0	0
	家族介護教室（集団）	5	6	6
	家族介護教室（個別）	11	8	2
成 法 苑	相 談 受 付	2,369	2,270	2,514
	実 態 把 握	264	271	281
	地域型介護予防教室（集団）	16	16	16
	地域型介護予防教室（個別）	0	0	0
	家族介護教室（集団）	6	6	6
	家族介護教室（個別）	0	0	0
寿 光 園	相 談 受 付	1,770	1,724	1,676
	実 態 把 握	210	274	254
	地域型介護予防教室（集団）	12	16	20
	地域型介護予防教室（個別）	175	0	0
	家族介護教室（集団）	5	6	6
	家族介護教室（個別）	14	0	0
信 貴 の 里	相 談 受 付	2,415	2,316	2,588
	実 態 把 握	286	258	266
	地域型介護予防教室（集団）	18	24	24
	地域型介護予防教室（個別）	1	0	0
	家族介護教室（集団）	6	8	6
	家族介護教室（個別）	0	0	0
中 谷	相 談 受 付	5,010	4,944	3,957
	実 態 把 握	337	306	298
	地域型介護予防教室（集団）	16	17	17
	地域型介護予防教室（個別）	25	0	0
	家族介護教室（集団）	4	6	6
	家族介護教室（個別）	21	0	0
基 幹 型	相 談 受 付	3,798	3,734	4,677
合 計	相 談 受 付	49,618	52,129	51,123
	実 態 把 握	3,861	4,059	4,113
	地域型介護予防教室（集団）（回数）	257	293	329
	地域型介護予防教室（個別）（件数）	281	3	0
	家族介護教室（集団）（回数）	113	110	95
	家族介護教室（個別）（件数）	66	25	6

令和6年度のデータからの分析 と合同専門職会議での取り組み

1. 相談件数

51123件のうち10155件が実件数

⇒**1件につき約5回対応がある**

理由として考えられるのは…

- 複雑・複合的な課題があるケースが増加
- 世帯全体のフォローや見守りが必要

相談件数の中で8050などの複雑・複合的な課題のあるケースが多い

2. 高齢者人口と相談件数

包括名	高齢者人口	相談件数	比率 (高齢者人口/相談件数)
菅振苑	5,978	2909	2.05
スローライフ北	2,986	2226	1.29
スローライフ八尾	4,839	2012	2.39
りゅうげ	5,656	3696	1.52
ホーム太子堂	3,918	2492	1.56
久宝寺愛の郷	5,289	4763	1.09
楽寿	4,421	1268	3.46
あおぞら	5,170	2581	2.01
緑風園	7,157	6780	1.05
長生園	6,336	4050	1.57
サポートやお	5,816	2934	1.97
成法苑	4,774	2514	1.88
寿光園	2,856	1676	1.68
信貴の里	4,287	2588	1.66
中谷	4,260	3957	1.06

(R6.3月末人口)

「久宝寺愛の郷」・「緑風園」「中谷」は高齢者人口に比して相談件数が多い。相談件数に比して実件数の割合が高いのは「楽寿」「あおぞら」

3. 介護認定者数について

包括名	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	要支援 1	要支援 2	合計
萱振苑	252	227	161	208	144	300	239	1531
スローライフ北	154	173	116	137	99	160	120	959
スローライフ八尾	227	215	129	128	103	285	168	1255
りゅうげ	224	199	159	145	117	278	197	1319
ホーム太子堂	168	142	115	121	113	201	126	986
久宝寺愛の郷	248	230	165	175	155	275	227	1475
楽寿	178	210	138	145	132	206	154	1163
あおぞら	182	194	149	167	122	199	186	1199
緑風園	292	293	201	241	186	339	260	1812
長生園	276	282	181	193	161	343	212	1648
サポートやお	221	232	162	170	136	274	212	1407
成法苑	205	199	152	164	117	236	208	1281
寿光園	127	123	84	103	94	103	78	712
信貴の里	140	147	126	125	93	183	133	947
中谷	207	165	134	114	90	221	146	1077
合計	3101	3031	2172	2336	1862	3603	2666	18771

(R6.4月末)

全体的に要支援の人数割合が高い

⇒介護予防の重要性
⇒介護予防ケアマネジメントの必要性

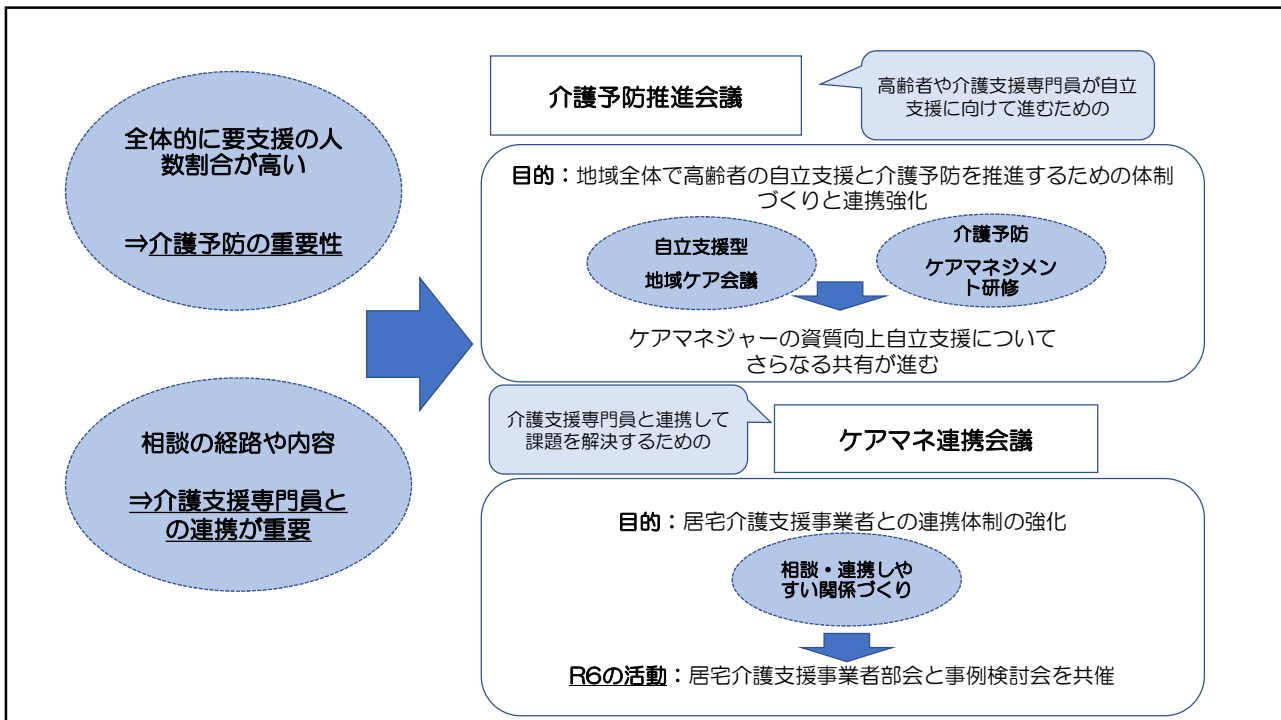
4. 相談の経路と内容について

- 家族に次いで介護支援専門員からの相談が多い
- 高齢者虐待の通報も警察に次いで介護支援専門員からが多い
- 相談の内容も介護相談・介護者支援が一番多い

⇒

介護支援専門員との連携が重要

介護予防ケアマネジメントの必要性



5. 八尾市の高齢化率

	高齢者人口	総人口	高齢化率
壹振苑	5,978	21,711	27.5%
スローライフ北	2,986	7,807	38.2%
スローライフ八尾	4,839	16,267	29.7%
りゅうげ	5,656	21,317	26.5%
ホーム太子堂	3,918	16,411	23.9%
久宝寺愛の郷	5,289	19,120	27.7%
楽寿	4,421	15,659	28.2%
あおぞら	5,170	18,582	27.8%
緑風園	7,157	25,756	27.8%
長生園	6,336	23,311	27.2%
サポートやお	5,816	21,247	27.4%
成法苑	4,774	15,958	29.9%
寿光園	2,856	7,414	38.5%
信貴の里	4,287	14,697	29.2%
中谷	4,260	14,599	29.2%
合計	73,743	259,856	28.4%

(R6.3月末)

28.4%

医療機関との相談内容が多い → 高齢化率↑ → 地域包括ケアシステムの実現

地域ケア会議
つなげる相談支援体制整備チーム会議

多職種協働による切れ目のない医療・介護の提供体制の充実のための

地域支援ネットワークづくり会議

目的：在宅医療・介護連携の課題を多職種で協働し、連携強化することによって切れ目のない医療・介護の提供体制の充実

R6の活動：救急課と医療機関の相談員と包括との意見交換

#7119（救急安心センター）のPR → 頻りに救急要請する方への連携支援 → エンディングノートの内容について協議

報告事項(3)高齢者あんしんセンターの事業評価について(令和6年度回答分)

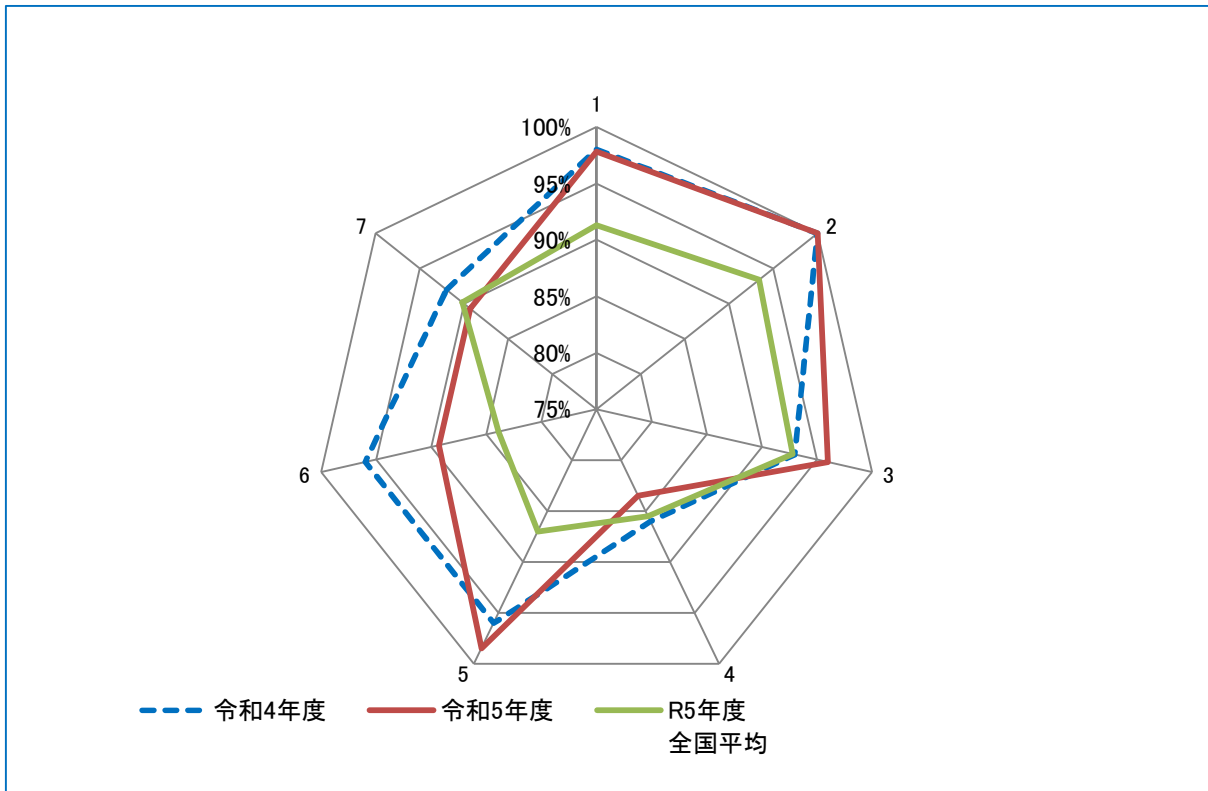
【目的】

地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的としている。地域包括支援センターが地域において求められる機能を十分発揮するために、人員体制及び業務の状況を定期的に把握・評価し、その結果を踏まえてセンターの設置者及び市町村が事業の質の向上のための必要な改善を図っていくことが重要であり、全ての市町村及びセンターで取り組み状況を評価することにより、地域包括ケアシステムの深化に向けた取り組みを加速させるものである。

【各高齢者あんしんセンターの取り組み状況（各センター平均）】

	項目	令和4年度	令和5年度	R5年度 全国平均
1	1 組織運営体制等	98.0%	97.8%	91.3%
2	2-(1) 総合相談支援	100.0%	100.0%	93.4%
3	2-(2) 権利擁護	93.0%	96.0%	92.8%
4	2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援	86.0%	83.5%	85.5%
5	2-(4) 地域ケア会議	96.0%	98.5%	87.0%
6	2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	96.0%	89.3%	83.9%
7	3 事業間連携（社会保障充実分事業）	92.0%	89.3%	90.2%
	平均	94.5%	93.5%	89.2%

■レーダーチャート（経年比較）



出典元：厚生労働省老健局振興課「地域包括支援センターの事業評価を通じた機能強化について(通知)別添資料」より

【まとめ】

令和5年度高齢者あんしんセンターの事業評価結果をみると、「包括的・継続的ケアマネジメント支援」「事業間連携（社会保障充実分事業）」以外の項目は全国平均を上回っていた。

「包括的・継続的ケアマネジメント支援」については、介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等をケアマネ連携会議等で実施しているが、年度当初に日程を提示できていない点や、介護支援専門員から受けた相談事例の件数を経年で集計はしているが内容を整理・分類までは分析できていない点でポイントが減少しているが、引き続き「ケアマネ連携会議」を活用して、介護支援専門員のニーズに基づいて意見交換の場を持つよう努めていく。

「事業間連携」の項目については、ポイントの減少がみられるが、医療と介護の連携を医療的ケアの必要な高齢者や認知症の人への支援など、地域における関係機関・関係者のネットワークを強化し、各分野の多職種連携のもと、相談支援体制の強化及び充実を目指していく。

令和6年度高齢者あんしんセンター事業経費決算について

1. 業務委託内容

高齢者あんしんセンターでは、下記の①～④の地域支援事業に係る業務等を委託している。なお、委託業務のほか、高齢者あんしんセンターにおいては、指定介護予防支援事業者としての指定を受け、予防給付に係る介護予防支援業務も実施している。

- ① 総合相談支援業務
- ② 権利擁護業務
- ③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
- ④ 介護予防事業

2. 令和6年度収支決算について

(1) 令和6年度各高齢者あんしんセンターの収入について

ア. 基本委託料等

- ・ 基本業務
 - 年額 緑風園 ; 24,415,000 円
 - 長生園・萱振苑 ; 21,363,000 円
 - 他 12 包括 ; 18,312,000 円
- ・ 啓発経費 年額 157,500 円
- ・ 地域包括支援センター運営システムサーバーリプレイス設置経費
 - 年額 あおぞら ; 2,142,690 円
 - 他 14 包括 ; 264,660 円

イ. 実績加算分

- ・ 実態把握委託料（徘徊高齢者家族支援事業実態把握委託料含む）
- ・ 特別定額給付金未申請者訪問勧奨業務委託料
- ・ 地域型介護予防教室事業委託料
- ・ 家族介護教室事業委託料

ウ. 介護予防支援費及び介護予防ケアマネジメント費

(2) 令和6年度高齢者あんしんセンターの事業経費決算の総計

ア. 収入 4億0,148万0,355円

イ. 支出 4億0,148万0,355円

全ての高齢者あんしんセンターにおいて精算を行っている。15か所の高齢者あんしんセンター（12法人）全てで、法人から繰り入れをしている（人件費や、施設維持管理費の施設内按分のため）。

3. 事業報告

①介護予防支援事業

- ・自主活動団体に対して場所を提供するなどの支援をした。
- ・各地域に出向き、教室や介護予防の啓発を行うことで、新規参加者の増加や自主活動グループの立ち上げにつながった。
- ・多様なテーマや測定等の内容を取り入れたことで、新規の参加者が増加傾向である。
- ・包括展に作業療法士等専門職を招き、フレイル予防を啓発した。

②総合相談支援業務

- ・認知症疾患、精神疾患、家族関係の課題等の世帯全体に複雑・複合的な問題を抱えたケースは解決が難しく、随時会議を活用し多機関と連携し課題解決に努めた。
- ・本人や家族、親族からの介護相談、医療機関からの退院時相談、民生委員や社会福祉協議会等からの生活困窮等相談、若年者を含む認知症の相談も増加している。

③権利擁護業務

- ・8050等虐待者が養護者に当たらないケースや家族関係が悪くキーパーソンが不在の増え、保健所、障がい福祉課等の連携し、つなげる支援室も介入し随時会議を開催する等、チームで支援を実施した。
- ・認知機能の低下による生活困窮の問題が多く、権利擁護センターや弁護士等に相談し、成年後見制度等の支援につないだ。

④包括的継続的ケアマネジメント業務

- ・介護サービス利用には至らないが、支援や地域との関りが必要なケースに対するインフォーマルな資源の問い合わせが増えた。
- ・ケアマネジメント、対応力向上につなげる機会となる多職種連携研修会等や部会の事例検討会を実施。

⑤多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

- ・虐待や8050問題等世帯支援が必要なケースが増加している。保健所や認知症初期集中支援チーム、つなげる支援室等との多機関で連携し、支援している。
- ・ふれあい喫茶や認知症カフェ等地域の行事に積極的に参加し、社会資源の把握に努めた。

⑥地域ケア会議の実施

- ・認知症や8050問題、キーパーソンが不在の家族、精神疾患等複合的課題があるケースは対応に時間を要し、随時会議も複数回行った。
- ・定例会では、8050問題を抱える事例を検討し、重層支援事業や障がい福祉に関わる機関とも情報共有ができ、連携強化に繋がった。

令和7年度高齢者あんしんセンター設置法人事業予算について

1. 令和7年度高齢者あんしんセンターの予算について

ア. 基本委託料等

- 基本業務
 - 年額 緑風園 ; 25,776,000 円
 - 長生園 ; 22,554,000 円
 - 他13包括 ; 19,332,000 円
- 地域包括支援センター運営システムサーバーリプレイス設置経費
 - 年額 322,410 円 (萱振苑、ホーム太子堂、成法苑、寿光園)
 - 352,440 円 (スローライフ八尾、長生園、サポートやお、緑風園、信貴の里)
 - 241,560 円 (スローライフ北、りゅうげ、久宝寺愛の郷、楽寿、中谷)
- 地域ケア会議推進事業費 年額 116,000 円

イ. 実績加算分

- 実態把握委託料 年間 891,000 円
- 地域型介護予防教室事業委託料 年間 528,000 円
- 家族介護教室事業委託料 年間 198,000 円
- 河内音頭健康体操立ち上げ支援費 年間 61,600 円

ウ. 介護予防支援費及び介護予防ケアマネジメント費

エ. 徘徊高齢者家族支援事業実態把握委託料 1 件あたり 3,520 円

2. 令和7年度高齢者あんしんセンターの事業経費予算の総計

総計は、3 億 9,951 万 1,030 円となっている。

3. 事業計画

①介護予防支援事業

- 地域団体、地域住民が集う場、自主活動グループ、企業等に対して、介護予防教室等の取り組みについて啓発するなど、住民が身近な地域でフレイル予防に取り組める様に支援を行う。
- アセスメント力の向上に繋がる自立支援型会議にケアマネジャーが負担なく参加できるよう連携の強化及び環境づくりに努める。
- 理学療法士や作業療法士などの専門職や一般と連携した教室を開催し、介護予防・

フレイル予防を意識してもらえるように促していく。

②総合相談支援業務

- ・防災訓練、フェスタ、地域拠点での包括展を継続開催し、高齢者だけではなく幅広い年代への高齢者あんしんセンターの役割・機能の周知する。
- ・地域にある社会資源を提供し高齢者の外出、社会交流を促し、孤立化防止に努める。
- ・地域包括支援センターの業務内容について見直し、業務整理をしていく必要がある。また、システムを活用して課題を共有し分析する集計方法を検討する。

③権利擁護業務

- ・高齢者虐待に早期発見、対応できるよう、地域団体や各関係機関等と協働し、通報の意識を高めていただけるよう、啓発や連携体制を強化する。
- ・成年後見制度申立て支援において、権利擁護センター（ほっとネット）や司法書士等と連携体制を整えながら、適切に実施していく。

④包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・ケアマネジャーが対応している、複雑・複合的な課題のあるケースについて、多職種と連携しながら後方支援が行えるように、随時会議を通して、様々な関係機関との支援体制の充実を図る。

⑤多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

- ・在宅医療を担う医療機関や支援する地域の医療機関等と連携を図り、地域において支援が必要な高齢者の実態を把握し、保健・福祉・医療など、多職種で連携を図り、チームでアプローチしていく。
- ・医療機関を含む多職種研修会等を活用し、多機関で検討する事例検討会に参加し共通認識やネットワーク強化に努める。
- ・認知症があっても安心して地域で生活できる様、認知症地域支援推進員や認知症初期支援チームと連携する。

⑥地域ケア会議の実施

- ・複合的な課題のある事例等は必要に応じ多職種と随時会議を行い、支援方法を検討し連携を図る。
- ・地域ケアケース会議のテーマを共通化し、そこから圏域の特性を把握して多職種で地域の実情にあった活動や事業を検討する。
- ・8050 問題や障がい者の介護保険制度への移行時など支援体制を構築する中で、障がい福祉分野との積極的な連携及び顔の見える関係作りに努める。

介護保険法施行規則の改正に伴う地域包括支援センターの設置運営について

◆ 設置運営の一部改正について

介護保険法施行規則の改正に伴い、地域包括支援センターの設置運営の一部が改正された件について、基幹型センター機能を確保することについての設置基準についても改められました。

(1) 地域包括支援センター（高齢者あんしんセンター）体制

基幹型センター	地域型センター	合計
1	15	16

八尾市では、中学校区を担当する区域を一の区域として、当該区域内の第1号被保険者の数がおおむね3000人以上6000人未満ごとに施行規則第140条の66第1号イに掲げる常勤の専門職員を配置しており、高齢者人口に対応する職員配置基準を満たしている。

(2) 基幹型センター（市直営）の位置づけ

地域包括支援センターの基幹的な役割を担い、センター間の総合調整や介護予防ケアマネジメント及び地域ケア会議等の後方支援などの機能を有し、センター全体の質の向上に努めている。

(3) 現状・課題

基幹型センターは、介護予防ケアプラン事業を実施していない等、主任介護支援専門員の養成研修の対象になる職員がいない点から、主任介護支援専門員の確保が難しい状況である。そのため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第245条の4第1項の技術的助言「地域包括支援センターの設置運営について」に基づき、下記の内容とする。

(4) 設置基準の見直し内容

市がセンターの人員配置基準を満たさない場合、センターとはみなされないが、複数センターと一体的に運営する場合は、センター全体で人員配置基準を満たすことにより、当該市もセンターとして運営することができるとされている。ただし、質の担保の観点から、3職種のうちいずれか2職種の配置は必須である。

上記の内容を踏まえ、基幹型センターは、15か所の地域包括支援センターと一体的に運営していることにより、人員配置基準が満たされ、地域包括支援センターとして運営することができることとする。